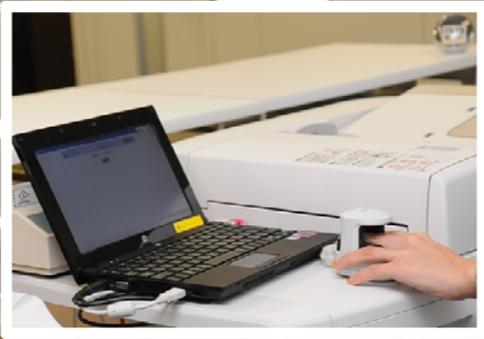


紙文書からの情報漏えい防止と印刷コストの削減に。  
内部統制やコンプライアンスの徹底を推進する  
強固なセキュリティ対策。

# 指静脈認証プリントシステム

**HITACHI**  
Inspire the Next



情報セキュリティ対策に力を入れている企業でも、つい見落としがちなのが紙文書のセキュリティ。出力紙の放置による盗難（持ち出し）、紛失、のぞき見が多発している今、複合機やプリンタへの強固なセキュリティ対策は、内部統制やコンプライアンスの観点からも不可欠となっています。そこで日立は、既存のプリント環境に厳格な本人認証を容易にアドオンできる「指静脈認証プリントシステム」を開発。なりすましの防止による印刷物のセキュリティ強化に加え、ムダな出力を減らすための各種機能も提供し、印刷コストの削減にも大きく貢献します。

## システムの特長

なりすましを防止する  
**厳格な指静脈認証**

印刷コスト削減を促進  
する機能が充実

プリンタベンダを選ばない  
**マルチベンダ対応**

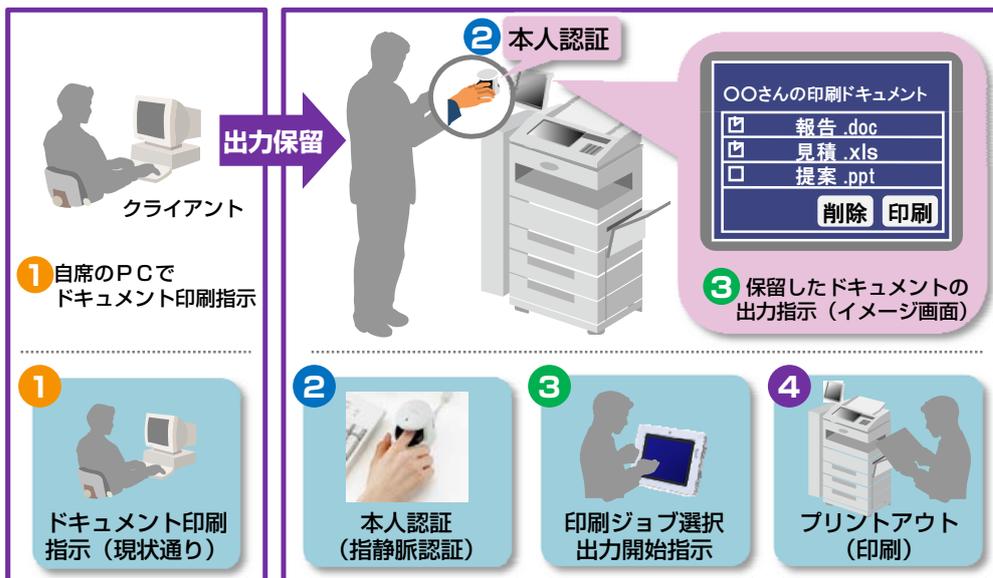
既存の出力機器は  
そのまま導入可能

出力先を選ばず  
**空きプリンタで出力可能**

詳しい説明と利用者の声を  
裏面に掲載しています ▶▶

## 指静脈認証プリントシステムとは

日立製作所が開発した独自技術「指静脈認証」により、厳格な本人認証を行うプリント環境を実現します。



# 指静脈認証プリントシステム

## プリント環境に潜むセキュリティリスク

日本における情報漏えい事故の7割は紙媒体経由で発生しています\*1。オフィス内の複合機やプリンタには「出力した文書がなくなる。誰かに持ち去られる。第三者にのぞき見される」といったリスクが常につきまっています。このため、日常的にお客さま情報や個人情報、機密情報などが印刷される紙文書へのセキュリティ強化は、内部統制やコンプライアンスの観点から、最も効果的な情報漏えい対策になると言えるでしょう。

また、印刷コストの削減も、企業や組織経営における重要な課題の一つです。これまで見逃していたミスプリントや不要な印刷を抑えれば、印刷コストは確実に下がり、環境配慮にも貢献します。

こうした「印刷物の紛失や置き忘れ」「印刷コストの削減」といった課題をトータルに解決するために日立が開発したのが、ユーザーの厳格な本人認証を行ってから印刷を行う「指静脈認証プリントシステム」です。

## なりすましを防止しながら印刷コストも削減

日立が開発した「指静脈認証技術」は、体内の血流パターンから照合画像を作るため、偽造や改ざんがきわめて困難です。従来のプリンタ・セキュリティに使われていたICカードやパスワードのように、貸し借りによるなりすましや、紛失・忘却の心配、カード発行やパスワード管理などの運用負担もなく、指1本でスピーディかつ高精度に本人認証が行えます。

指静脈認証プリントシステムは、使い方も非常にシンプルです。自席のPCから従来どおりに印刷指示を出した後、プリンタにアドオンされた認証装置に指をかざし、必要な印刷ジョブを選べば、その場で本人だけが印刷物を出力でき、持ち去りやのぞき見の危険性を抜本的に解決します。特定のプリンタだけでなく、オフィス内で空いている、任意のプリンタからも出力できるほか\*2、支社で印刷指示を出した後、離れた本社のプリンタで出力することも可能なため、機密文書を持ち歩いて紛失してしまうリスクもなくなります。

複数の印刷ジョブを一度にまとめて印刷できるほか、ミスに気づいたり不必要になった場合は個別にキャンセルすることも可能。印刷指示を出したまま一定時間が経過すると自動的に削除する機能や、「誰がいつどの文書を印刷したか」を検索・参照するログ機能も備えており、印刷コストのトータルな削減にも大きな効果を発揮します。

## 既存の出力機器をそのまま活用できるマルチベンダー対応

指静脈認証プリントシステムはマルチベンダー対応で、お客さまのプリンタ環境を選びません。既存の複合機やプリンタをそのまま利用でき、印刷ドライバも各ベンダー純正のものを利用します。指静脈認証サーバとプリントサーバ、各プリント機器にアドオンする操作端末や指静脈認証装置などを追加するだけで、すぐに利用していただくことができます。

企業や官公庁・自治体での活用のほか、センシティブな個人情報を取り扱う医療機関、情報管理と内部統制を徹底させたい金融機関などで、幅広くご利用いただけます。

\*1 出典：NPO日本ネットワークセキュリティ協会 2009年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書

\*2 プリンタ利用環境によって一部制限があります

# 利用者の声

インタビュー/  
(株)日立製作所 情報・通信システム社  
公共総務部 庶務グループ 主任  
下松八重 成吾



日立製作所 公共システム事業部では、2010年6月から指静脈認証プリントシステムを導入。合計17台の複合機を設置するフリーアドレスフロアにおいて、プリント環境のセキュリティ強化とコスト削減に成功しています。

新システム導入の背景と効果について、公共総務部 庶務グループ 主任の下松八重 成吾に話を聞きました。

**Q 指静脈認証プリントシステムを導入した目的から教えてください。**

**A** 自由に席が選べるフリーアドレスフロアには、4フロアの各階に4~5台ずつ複合機を設置しています。従来は、PCから印刷指示を出し、それぞれが取りに行くという一般的な運用形態をとっていましたが、忙しいとつい、「後から取りに行こう」となりがちで、どうしても複合機周りに印刷物が散乱していました。他人の印刷物に混ざって持っていくケースも少なくありませんでしたし、オフィスには社員以外の方も出入りすることがあります。情報漏えい防止という観点からも、早急に手を打たなければと考えていた時、「指静脈認証プリントシステム」を提案され、試験的な導入へとつながりました。

**Q セキュリティ面での効果はいかがでしたか。**

**A** 指静脈認証を行わないと出力自体が行われなかったため、印刷物がたまり、散乱してしまう状況がなくなりました。他人の印刷物に混ざって持ち去られたり、のぞき見されるリスクもなくなったのはセキュリティ面で非常に高く評価できます。機密ファイルの出力も安心して行えるという声も聞いています。ドキュメントの印刷は日常的な行為なので、これまではあまりセキュリティを意識することがなかったわけですが、このシステムを導入してからは、毎回自分の指で本人認証を行う行為が加わったことで、利用者の情報セキュリティに対する意識が確実に向上したことを感じています。

**Q コスト削減にも効果が出ていますか。**

**A** 印刷枚数が確実に減り、前年比で18%削減という大きな効果が出ています。一度印刷ジョブを投入したもので、ドキュメントの一部にミスがあつて訂正しなければならぬものや、後で必要なくなるケースが意外と多いのです。ここで印刷前にキャンセルできる機能が枚数削減に効果をあげています。カラー印刷の場合は、さらにコスト削減効果がありますし、誰が何枚印刷したかもログに残るため、不要な印刷を控えようとする意識付けにもつながっていると思います。

**Q そのほかにも導入効果は感じられていますか。**

**A** 印刷コストだけでなく、時間的なコストも削減でき、業務効率の向上につながっています。従来なら印刷ジョブを投入するたびにプリンタまで足を運ぶ必要がありましたが、新システムでは複数回の印刷ジョブを一度に出力できるので、業務の中断が最小化できるのです。また、オフィス内のどのプリンタからも指静脈認証で出力できるため、人が使い終わるまで待つというムダな時間もなくなりました。どのプリンタがどの程度使われているかもログで分析できるので、リース更新の際には台数の最適化も図ろうと考えています。これらの導入効果をふまえ、今後は「指静脈認証プリントシステム」の適用をさらに本格化させていきたいと考えています。

## 製品に関する詳細やお問い合わせは下記へ

指静脈認証ソリューション

<http://www.hitachi.co.jp/veinid/>

お問い合わせ

<http://www.hitachi.co.jp/veinid-inq/>